

令和4年度消防職員教育救急救養（妊産褥婦・新生児対応）

大船渡地区消防組合では、①警防救助、②救急、③予防の3つの分野の教養・訓練カリキュラムを毎年作成し一年間を通して継続的に各職員の知識と技術の向上に努めています。

今年度は新たな試みとして、例年実施している救急救養・訓練カリキュラムに追加して特別教養「妊産褥婦・新生児対応」訓練を企画し、運用救急救命士（現在実際に現場に出動する救急救命士）を対象に令和4年11月25日（金）に訓練を実施しました。



訓練では、初めに周産期医療の基本的な知識や処置方法の確認を座学で実施し、その後、国際医療福祉専門学校一関校様からお借りしました分娩訓練セットを使用し分娩介助や出生した新生児の正常時の対応と緊急時（仮死状態）の対応方法を実技で訓練しました。

普段使うことのできない分娩訓練セットを使用し、実際の現場に近い環境で訓練することで、参加した救急救命士がそれぞれの認識を深め、訓練を通して改めて「妊産褥婦・新生児対応」の難しさと重要性を再確認し、隊員間の連携強化を図ることができました。

分娩訓練セットの借用に協力していただいた国際医療福祉専門学校一関校様大変ありがとうございました。

